

学位（修士）論文等作成にあたる研究指導の方法・内容・計画について

博士前期課程では、学位（修士）論文等の作成にあたって、以下のスケジュールにて研究指導が行われます。

・事前連絡・入学試験時 研究計画の確認

大学院入学試験出願前の事前連絡及び入学試験において、入学後の研究課題、研究内容、研究計画等を指導希望教授により確認する。

・1年次 4月 ガイダンス（新入生ガイダンス・専攻別ガイダンス）

教員紹介、カリキュラム、研究指導計画や事務手続き等の説明を行う。

・1年次 4月 「研究テーマ概要報告書」の作成

修士論文・作品・制作の研究テーマ・研究計画を立案し、指導教授とヒアリングを行い、実現可能な研究・制作方法を検討する。

・1年次 4月 カリキュラムの履修

ガイダンスの説明を踏まえて、期日までに履修登録を行う。指導教授の助言をもとに、指導教授の研究指導科目（1～2年次継続科目）の他、各自の研究・制作内容に関連する授業科目を履修する。

・1年次 4月以降 研究・制作の遂行及び指導・研究倫理教育の受講

指導教授の指導・助言のもと、研究計画・テーマに沿って研究・制作を行う。指導教授は研究・制作の進行を確認し、随時指導を行う。

※1年次は、研究・制作主題を模索し、興味・関心の高い分野にとどまらず多角的な視点から様々な文献・論文を検証するとともに、研究の基礎となる著作物を読み芸術作品を多く鑑賞する。修士論文・作品・制作の構想をしっかりと練り、2年次の1月に提出する準備を行う。

・1年次 11月～1月 研究中間発表

これまでの研究成果、創作物の発表を行う。指導教授等の指導・助言、他の大学院生からの分析・意見を受けて今後の研究計画を再構築する。

※研究中間発表の実施時期は専攻により異なる。

・2年次 4月 ガイダンス（在学学生ガイダンス・専攻別ガイダンス）

カリキュラム、研究指導計画、修士論文・作品・制作の提出スケジュールの説明を行う。

・2年次 4月 「論文・作品・制作等概要報告書」の作成

修士論文・作品・制作の概要を報告する。指導教授とヒアリングを行い、研究・制作方法を再検討するとともに、専門領域の目的を目的として指導体制を構築する。

・2年次 4月 カリキュラムの履修

ガイダンスの説明を踏まえて、期日までに履修登録を行う。指導教授の助言をもとに、指導教授の研究指導科目（1～2年次継続科目）の他、各自の研究・制作内容に関連する授業科目を履修する。

・2年次 4月以降 研究・制作の遂行及び指導

指導教授は前学年までに進展させた研究・制作の計画と状況を確認し、随時指導を行う。

※2年次は、ここまでの研究をもとに、修士論文等の骨子を作成するため、研究・制作を具体化し方向性を固めていく。修士論文等提出の終盤では指導教員はマンツーマンで対応し、論文提出後の口述試問も含めて徹底的に指導を行う。

・2年次 1月 学位（修士）論文等の提出

指導教員の最終的なアドバイスを受け、修士論文・作品・制作作成規定に基づき、修士論文等を提出する。

・2年次 2月 学位（修士）論文等の審査

提出された学位（修士）論文等について各専攻で審査（最終審査及び試験）を行う。

・2年次 2月下旬 修了判定

研究科にて修了判定が行われる。

・2年次 3月25日 学位記授与式

修士（芸術学）の学位が授与される。

※学位（修士）論文等の最終審査及び試験方法は専攻により異なる。

※学位（修士）論文等の審査基準は「日本大学大学院芸術学研究科における学位（修士）論文等審査基準」による。

学位（博士）論文等作成にあたる研究指導の方法・内容・計画について

博士後期課程では、学位（博士）論文の作成にあたって、以下のスケジュールにて研究指導が行われます。

・事前連絡・入学試験時 研究計画の確認

大学院入学試験出願前の事前連絡及び入学試験において、入学後の研究課題、研究内容、研究計画等を指導希望教授により確認する。

・1年次 4月 新入生ガイダンス

教員紹介、カリキュラム、研究指導計画や事務手続き等の説明を行う。

・1年次 4月 「研究テーマ概要報告書」の作成

博士論文の研究テーマ・研究計画を立案し、指導教授とヒアリングを行い、実現可能な研究計画を検討する。

・1年次 4月 カリキュラムの履修

ガイダンスの説明を踏まえて、期日までに履修登録を行う。指導教授の助言をもとに、指導教授の研究指導科目（1～2年次継続科目）の他、各自の研究内容に関連する授業科目を履修する。

・1年次 4月以降 研究の遂行及び指導・研究倫理教育・コンプライアンス教育の実施

指導教授の指導・助言のもと、研究計画・テーマに沿って研究を遂行する。指導教授は研究の進行を確認し、研究資料・情報収集の仕方、研究方法について随時指導を行う。学位（博士）論文を提出するまでに自分の研究内容に関連した学会への入会および査読つき学会誌等の論文1編を含め、学会等で研究発表を2回以上行う。

・1年次 3月中旬 2年次生の第2次予備試験（研究中間発表会）を傍聴する

発表内容をもとに、自分の研究方法と課題を振り返り、2年次以降の研究計画・テーマを再検討する。

・2年次 4月 在学生ガイダンス

カリキュラム、研究指導計画、学位（博士）論文の提出スケジュールの説明を行う。

・2年次 4月 「学位論文概要報告書」の作成

博士論文の概要を報告する。指導教授とヒアリングを行い、研究計画・テーマを再検討するとともに、研究領域に合わせて指導体制を構築する。

・2年次 4月 カリキュラムの履修

ガイダンスの説明を踏まえて、期日までに履修登録を行う。指導教授の助言をもとに、指導教授の研究指導科目（1～2年次継続科目）の他、各自の研究内容に関連する授業科目を履修する。

・2年次 4月以降 研究の遂行及び指導

指導教授の指導・助言のもと、研究計画・指導計画書に沿って研究を遂行する。指導教授は研究の進行を確認し、随時指導を行う。

・2年次 11月～12月 第1次予備試験の実施

学位（博士）論文作成可能な知識、基礎的能力を備えているかを判断する試験を行う。（外国語及び専門知識）

・2年次 12月中旬 3年次生の最終試験等（学位請求論文審査・口頭発表）を傍聴する

口頭発表による学位論文審査を経験することで、研究方法やテーマを再検討する。

・2年次 3月上旬 第2次予備試験（研究中間発表会）の実施

学位（博士）論文の内容，進行状況等に関し，提出が可能かどうかを見極める。（研究中間発表会）

- ・ **3年次 4月 在学生ガイダンス**

カリキュラム，研究指導計画，学位（博士）論文の提出スケジュールの確認を行う。

- ・ **3年次 4月 カリキュラムの履修**

ガイダンスの説明を踏まえて，期日までに履修登録を行う。指導教授の助言をもとに，各自の研究内容に関連する授業科目を履修する。

- ・ **3年次 4月以降 研究の遂行及び指導**

指導教授の指導・助言のもと，研究計画・指導計画書に沿って研究を遂行する。指導教授は研究の進行を確認し，随時指導を行う。

- ・ **3年次 10月下旬 学位請求論文の提出**

指導教員の最終的なアドバイスを受け，学位論文作成規定に基づき，学位（博士）論文を提出する。

- ・ **3年次 12月中旬 最終試験等（学位請求論文審査・口頭発表）の実施**

論文要旨を発表・説明し質疑に応答する・審査委員により最終試験（専門試験）を実施する。

- ・ **3年次 2月中旬 学位授与及び修了判定**

研究科にて学位授与及び修了判定がなされる。

- ・ **3年次 3月25日 学位記授与式**

博士（芸術学）の学位が授与される。

※学位（博士）論文の審査基準は「日本大学大学院芸術学研究科における学位（博士）論文審査基準」による。